



令和6年度 小名浜西小学校 学校経営ビジョン

〈学校経営のねらい〉

- 〈知〉 学びがいのある授業の創造
- 〈徳〉 思いやりのある心の醸成
- 〈体〉 たくましい心と体の育成

〈学校教育目標〉

- ㊦ 考える子ども ㊦ がんばる子ども ㊦ やさしい子ども ㊦ 元気な子ども

ともに伸びよう

ともに学ぼう

ともに築こう

小名浜西小学校

(西小校歌より)

学びがいのある授業の創造(知)

～学びの質を高めるために～

1 個に応じた指導を充実させ、一人ひとりの持てる力を十分に引き出します。

- 各種調査結果をもとに、学習の状況を把握し、一人ひとりの課題を明確にします。
 - 学力調査(NRT,県学テ,全国学力)の実施と活用
 - 活用力育成シートの実施と活用
- 一人一人の課題に応じた手立てを講じます。
 - 個に応じた指導の徹底、学習形態の工夫
 - 特別に支援を要する児童への指導の充実(校内特別支援委員会での話し合いと保護者との連携)

2 聴き合い学び合う態度を育てます。

- 「学びの構え」を形成します。
 - 算数タイム、読書タイム、国語タイム等の効果的な活用
 - 次時の準備をする休み時間(日課表の意識化)
 - 授業に真剣に取り組む態度の育成
 - 考えを持たせ、伝える力の育成(学びの共有、伝々タイム)
- 家庭の協力を得ながら、学習習慣や生活習慣定着のための取り組みを行います。
 - 家庭学習チャレンジ期間の実施※チャレンジカードの活用
 - 授業参観時懇談会、教育相談、各種たよりによる保護者への啓蒙(学びのススメ、自学ノートの推奨)

3 授業力を高め、分かる授業の推進に努めます。

- 現職教育を組織的に進め、授業の腕を磨きます。
 - 算数・数学授業づくり支援訪問の活用
 - 児童が「わかる・できる」と思う授業づくり
- 授業研究を積極的に進め、指導力を向上させます。
 - 学力診断テスト(NRT)目標※昨年度結果よりUAの減少(校内偏差値平均50.5)の向上を目指して
 - 研修履歴シートに基づいた個人研修の実施
 - 授業スタンダードの活用

4 学びの環境整備を推進します。

- 図書館教育の充実を図ります。
 - 読書活動の推進(親子読書の推進)
 - 読書量、学校図書館利用率の向上
- ICTを活用し、児童が意欲的に学ぶ環境づくりします。
 - 教職員の研修会の実施(効果的な取組の共有)
 - 活用しやすい環境の整備
- 算数と生活を結びつける学習環境の充実を図ります
 - 数や量の感覚を高める工夫

「ともに」学び高め協力し合い

「かがやけ! 小滝っ子」

～すべては子供の輝く未来のために～

思いやりのある心の醸成(徳)

1 よさを認め合い助け合う活動を通して、豊かな心をはぐくみます。

- 道徳教育を充実させ、豊かな心をはぐくみます。
 - 道徳科の授業を充実させるとともに、教育活動全体で道徳活動に取り組むことで道徳的判断力・実践意欲と態度の育成
 - 「ふくしま道徳教育資料集『絆』」の積極的活用
 - 「生命の尊さ」「親切、思いやり」を重点指導項目に位置づけ、価値の内面化を図る(※自分や周りの人の命を守るための判断力・実践力の育成)
- 特別支援教育の充実を図ると共にお互いを認め合う心を育てます。
 - 交流を充実させると共に、一人一人の良さを確認する場の設定「みんなちがってみんないい」
- 異学年児童等の交流を通して、相手を思いやる心を育てます。
 - 縦割り集会活動の効果的な実施(※望ましい人間関係の育成)
 - 登校班や清掃活動など下学年を助けようとする児童の育成
- 豊かな体験活動の実施(集団宿泊・見学学習、ボランティア等)

2 きちんと挨拶ができる児童を育成します。

- 朝の交通指導(小・中教職員、保護者、地域見守り隊等)
- 全校集会や学級活動時のあいさつ指導の徹底
- 場や相手に応じたあいさつ・会釈(心が伝わる)の実践

3 自分の良さに気づき、意欲的に登校する児童の育成に努めます。

- 児童の自己有用感を高め、学ぶ意欲につなげます。
 - 積極的な生徒指導を行い、子どもたちの良さを教師間で共有
 - 一人一人の努力を認め合える場づくり(全校集会・学級・掲示)
 - いのちを育む教育推進事業の活用(助産師活用)
 - 夢や目標に向かって取り組む心の醸成(チャレンジノートの活用)
 - 不登校対策サポートティチャーの活用・ケース会議での早期対応
- 子どもたちの悩みや問題の早期発見・早期解決努めます。
 - 学年・学級の枠を超えて児童に声を掛けます。
 - 悩みや問題等を相談できる体制の構築(保健室・SCとの連携)
 - 困りごと調べの実施(年3回の実施と共有)
 - 校内支援指導会議、いじめ不登校対策会議の計画的実施(西小スタイルのケース会議の持ち方)

最後までがんばる たくましい心と体の育成(体)

1 体力を高め、運動能力の向上を目指します。

- 体力・運動能力向上に組織的に取り組みます。
 - 運動する「時間/空間/仲間」の確保
 - 教員の指導力の向上と体育の時間の充実(実技講習会の実施と身体プログラムの自校化)
 - 運動意欲の向上と生活習慣の改善(自汗の活用)
 - がんばりカードの効果的活用
 - 体力・運動能力向上のための取り組みを、業間体育等において年間を通じて計画的に行います。
 - 新体力テストや健康診断等による課題の把握
 - 1学期重点指導事項⇒走力、瞬発力、持久力
 - 2学期重点指導事項⇒持久力、投力
 - 3学期重点指導事項⇒調整力、筋持久力
- ※最後まで頑張る児童の育成にむけて

2 健康の保持増進のための取り組みを、計画的に進めます。

- 健康の保持増進や生活習慣の改善のための保健指導等に、組織的に取り組みます。
- 養護教諭と担任による保健指導の充実
 - 食育コーディネーターを中心とした食育指導の充実
 - 規則正しい生活習慣の定着(家庭との連携)
 - ※チャレンジカードの活用
 - ネット・ゲーム依存防止のための取組(メディア指導)
 - 薬物乱用防止教室の開催
 - 学校保健委員会の計画的開催(※栄養士の活用)
 - 疾病予防や本校課題解決のための取組(※全国歯磨き大会参加・歯科衛生士活用等)
- ※本校健康課題(偏食・虫歯)の解決に向けて

3 危険予知と危機回避能力の育成を図る共に、安心・安全を確保します。

- 定期的な避難経路の点検確認の実施
 - 学校行事や学級活動における、防災や安全指導の計画的実施(交通教室や避難訓練等)
 - 登下校時の安全指導の充実
 - 保護者児童送迎時の安全確保と注意喚起
 - 感染症予防への積極的な取組
- ※「自分の命は自分で守る」指導の徹底

<本校は、キャリア教育への取り組みを土台として、児童に基礎的・汎用的な能力を育成します>

- 人間関係形成・社会形成能力
- 自己理解・自己管理能力
- 課題対応能力
- キャリアプランニング能力